

土木広報アクショングループの活動

土木広報アクションプラン「伝える」から「伝わる」へ 最終報告書

土木広報アクションプラン
「伝える」から「伝わる」へ

【最終報告書】

2013（平成25）年7月31日

公益社団法人 土木学会
社会コミュニケーション委員会
土木広報アクションプラン小委員会

- ◆土木広報の参考書
 - …社会資本に対する理解増進を図る取り組みの考え方を整理
- ◆広報戦略の提案
 - …33項目の広報企画（アクションプラン）を提案

§ 1.土木広報アクショングループ設置の背景

土木広報アクションプラン小委員会(2012~13)での議論

- ◆ 美しい報告書をまとめて終わりではない。
- ◆ 実行しなければ意味がない

■ 広報マインドの定着 “一人一人が広報パーソン”

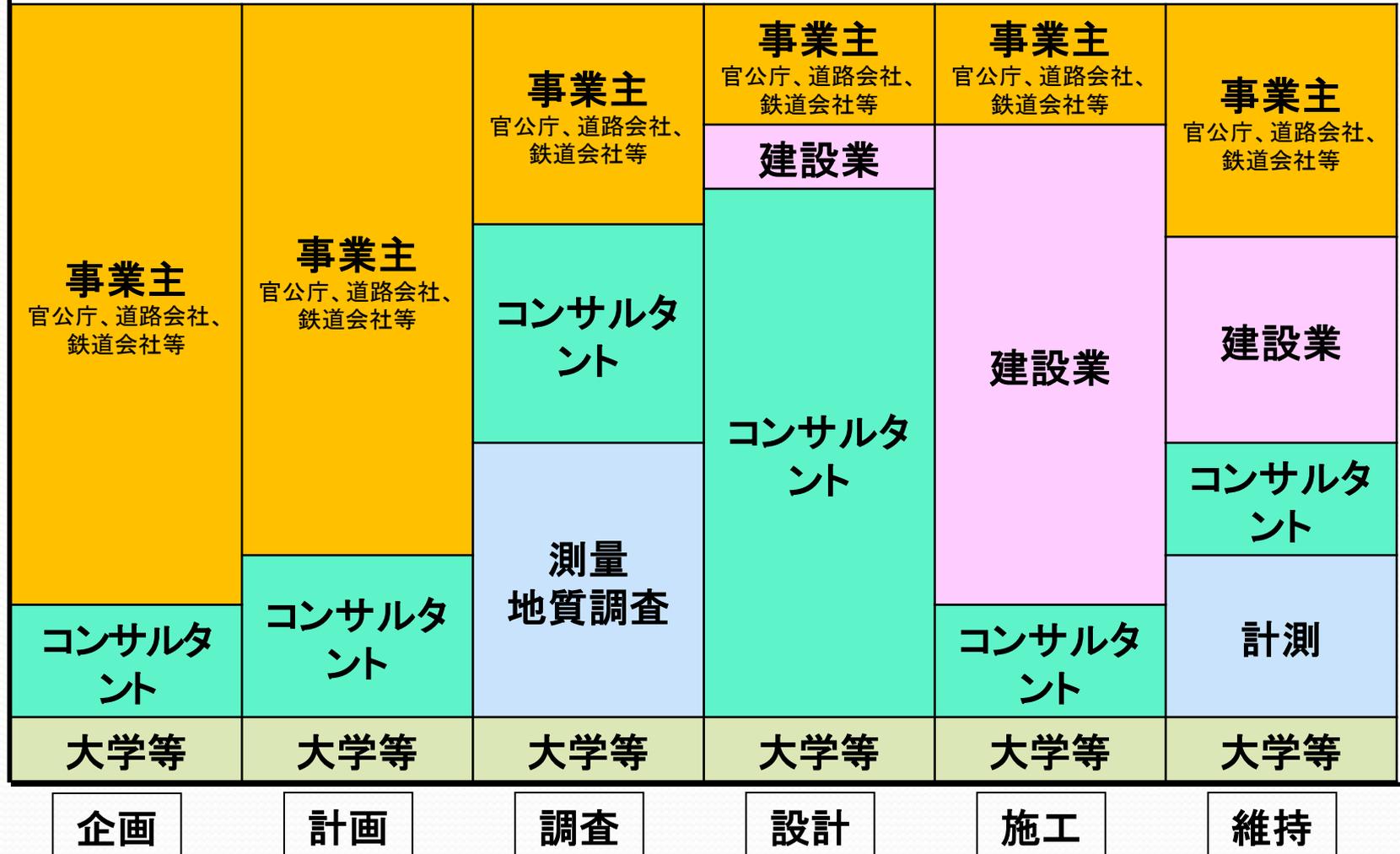
- ◆ それぞれの立場に応じた広報責任。
 - ・ 組織別の役割（官公庁、企業、大学）
 - ・ 全国規模と地域規模

- ◆ 国民・利用者との接点という意味での現場広報。
 - ・ 国土に働きかけからの恵み
 - ・ 土木の国民生活への貢献

- ◆ 土木界の意識改革
 - ・ 土木広報は業務の一つ ついで仕事ではない

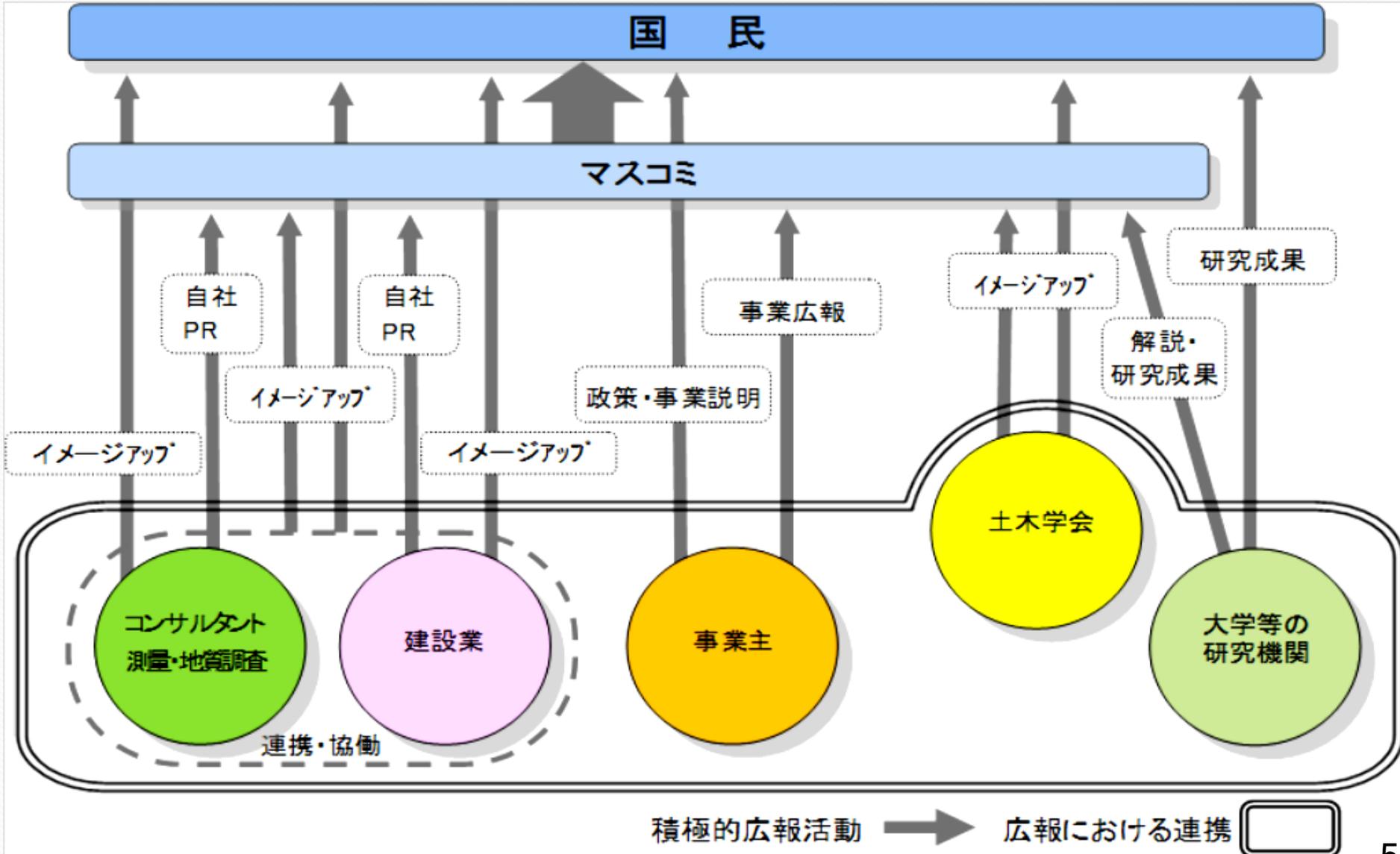
■事業段階ごとの各主体の関与に応じた土木広報の役割

関与率↑



事業進捗→

■土木界の総力を結集した積極的広報活動



§ 2. 土木広報アクショングループの目的

①アクションプランの理解増進

→土木界をあげた広報という認識の共有拡大

②アクションプランのフォローアップ

→産学官、各自の得意分野における広報活動
できている取組み、できていない取組み

連携強化する取組み、立ち上げを検討する取組み

§ 3. 当面の活動

①土木界をあげた広報という認識を広めるために…

→足元の学会地方支部との連携、関係協会との連携
広報担当者間の情報交換のしくみづくり

②アクションプランのフォローアップのために…

→33メニューの実行状況

それぞれの主体がどんな活動しているか

→実施状況を土木広報戦略会議に報告
連携して活動を進化・深化させる取組みの発掘
活動が手薄な取組みの発見、てこ入れ

■ 33項目の土木広報企画(アクションプラン)

	I. 重点対象者	II. 特定対象者	III. 一般対象者
A 当事者	A-I. 土木関係者 1) 土木関係者への広報研修の実施 2) 土木界内の広報に関する情報共有 3) 最高広報責任者の明示	A-II. 工学系高校生・大学生 4) 学生向けの特別授業やセミナー等	A-III. 土木マニア・ファン・シニア 5) 土木検定の実施 6) 体験ツアー等の実施
B. 中間	B-I. 家族・主婦 7) 誤解や不正確な情報には正確な情報を提供する。 8) 一般の女性が関心のある内容で土木を広報 9) ファミリーデー(社員の家族による会社訪問日)の開催 10) “Facebook”“twitter”公式アカウントによる情報提供 11) 災害時広報体制の確立	B-II. 幼児・小学生・中学生・高校生 12) 学校の図書館に所蔵できる土木図書の作成 13) 教育指導者向けの学習会の開催や教材開発 14) 教育素材の提案、企画づくり 15) 土木技術者を講師とした土木教室の開催 16) 国語辞典における土木の意味と用例の提案、普及	B-III. 一般市民・利用者 17) 観光と一体となった現場見学ツアーの実施 18) 100万人の市民現場見学会の改善 19) 土木に興味のある著名人への土木イベント招待や執筆依頼 20) 道の駅やSA/PA、駅での情報発信 21) 生涯学習で地域の土木を素材化 22) 土木用語のWikipediaへの投稿 23) 電車のつり広告の掲載 24) 土木共通のシンボルマーク・シンボルロゴ・ゆるキャラの制定 25) 工事に携わった土木技術者の氏名を記した銘板の設置
C. 第三者	C-I. 報道関係者・識者・作家 26) 記者との懇談会の実施 27) 記事にされやすい情報発信 28) 識者向けの情報発信	C-II. 地方報道関係者・利害関係者・地域住民 29) 地方報道記者との勉強会 30) 第三者による検証や再現が可能な説明資料の提供	C-III. 世論・輿論 31) 土木知識に関する対応窓口設置 32) テレビ情報番組の制作 33) 番組制作会社へのはたらきかけ

33項目の土木広報企画の取組み状況(2014年11月調べ)

- ・関係協会、地方整備局にアンケート調査
- ・33項目の実施状況の星取り表を作成

取組み名 ※数字は土木広報ア クションプラン報告書 での整理番号	土木の情報を伝 える相手	実施例	実施地域																							
			日本建 設業連 合会	全国建 設業協 会	建設コ ンサル タツツ 協会	全国地 産産業 連合会	日本埋 立波深 協会	プレス トレス トコン クリート 建設業 協会	一般財 団法人 河川情 報セン ター	土木学 会	その他	北海 道開 発局	東北 地整	関東 地整	北陸 地整	中部 地整	近畿 地整	中国 地整	四国 地整	九州 地整	沖縄 事務 局	国総 研	土研	地理 院		
組織内での取 り組み	1) 土木界関係者へ の広報研修の実施	土木関係者		●						●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	2) 土木界内の広報 に関する情報共有	土木関係者	●	●						●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	3) 最高広報責任者 の明示	土木関係者		●					●			●	●		●									●	●	
	25) 工事に携わった 土木技術者の銘板 設置	一般市民・利用 者												●						●						
	9) ファミリーデー(社 員家族による会社訪 問日)開催	家族・主婦		●								●			●					●				●	●	●
土木に関心 を持ってもら うための取 り組み	6) 体験ツアー等の実 施	土木マニア・フ ァンシニア			●							●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	17) 観光と一体とな った工事現場見学ツ アーの企画	一般市民・利用 者			●					●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	18) 100万人の市民 現場見学会の改善	一般市民・利用 者	●	●			●								●	●	●	●	●	●						
	19) 土木に興味のある 著名人を土木イベ ントに招待等	一般市民・利用 者							●	●	●		●		●	●	●	●	●				●			
	5) 土木検定の実施	土木マニア・フ ァンシニア									●				●		●	●								
	8) 一般女性が関心 のある内容で土木広 報	家族・主婦		●											●	●	●	●	●	●	●			●	●	
	20) 道の駅、SA等 での情報発信	一般市民・利用 者		●	●	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	23) 電車の吊り広告 の掲載	一般市民・利用 者																			●					
	24) 土木共通のシボ ルマーク・ロゴ・ゆる キャラの制定	一般市民・利用 者		●							●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●

Ⅰ 33項目の土木広報企画の取組み状況(2014年11月調べ)

◆各団体や行政とも積極的に取組んでいるもの

(組織内での取組み)

- ・広報誌、冊子、関係者での協議会活動等。

(土木に関心を持ってもらうための取組み)

- ・現場見学やパネル展示等のイベント。

(学習素材としての土木)

- ・教育素材の提供や出前授業

(情報ツールの活用)

- ・Facebook等の活用、災害時広報 など

Ⅰ 33項目の土木広報企画の取組み状況(2014年11月調べ)

◆取組みが低調なもの

- ・土木広告(電車の中張り宣伝のような)
- ・第三者による検証や再現が可能な説明資料の提供
- ・土木技術者による正確な情報(Wikipedia投稿のような)
- ・番組製作への働きかけ など

※なかには特定者の得意分野の取組みも

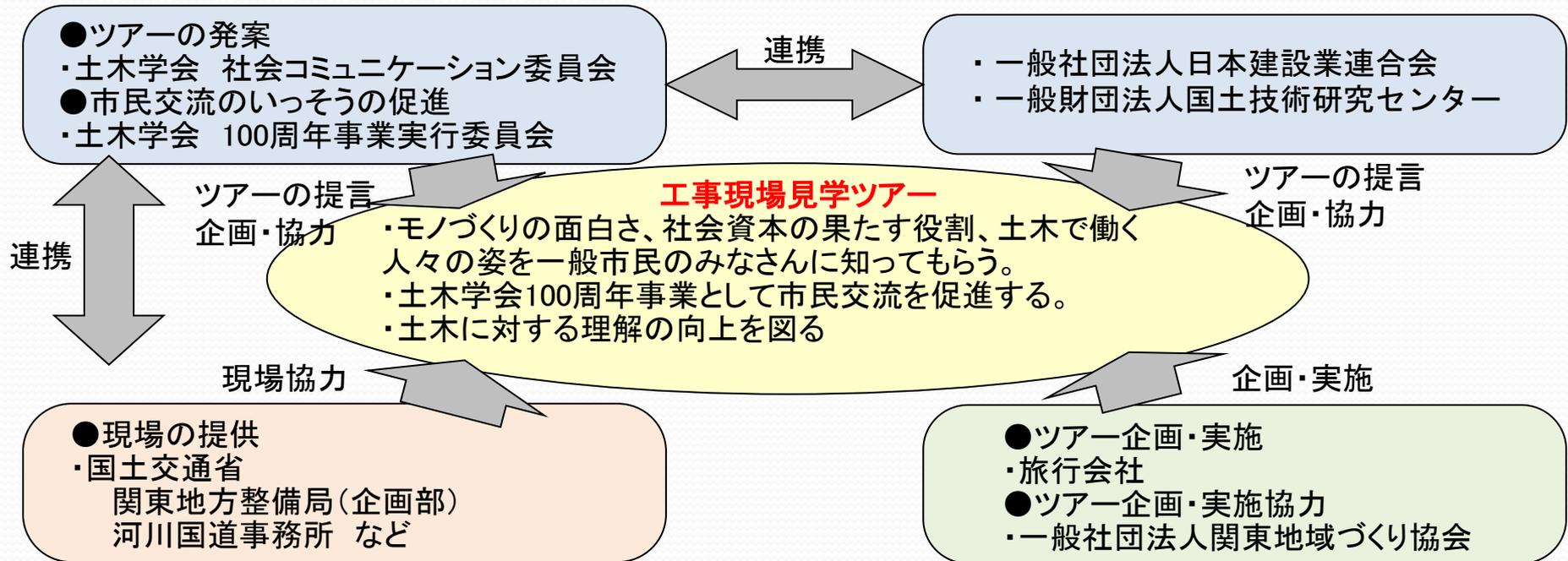
- ・工事に携わった土木技術者の銘板設置(官)
- ・土木検定や認定制度(産)
- ・辞典における土木の意味と用例の提案・普及(学)

§ 4. アクションプラン実現の試行の取組報告

- ◆ 工事現場見学ツアー ……現場見学WG
(インフラツーリズム)
- ◆ 国語辞典における「土木」の用語 ……国語辞典WG

■インフラツーリズム 社会資本を訪ね、学びや体験するツアー

Ⅰ 土木学会・関東地方整備局・旅行会社等とのコラボ (有料のインフラツーリズム社会実験)



- ・土木界を代表するネーム、求心力としての土木学会
- ・ツアーの対象となる工事現場を紹介したい国土交通省
- ・旅行会社の宣伝・集客力、顧客目線、マーケット感覚、ツアー企画力

◆第1弾 2013年8月24日(土)

「夏休み！親子で学べる道づくり」(東京外かく環状道路千葉県区間)



◆第2弾 2013年12月14日(土)

「東京港トンネルウォーキングツアー～大井からお台場まで歩いてく大人の探検～」(国道357号東京港トンネル)

◆第3弾 2014年3月29日(土)

「東京港トンネルウォーキングツアー～東京湾今昔物語～」(国道357号東京港トンネル)



◆第4弾 2014年6月8日(日)
 「圏央道見学ウォーキング」(宮ヶ瀬ダム、小倉橋、圏央道)



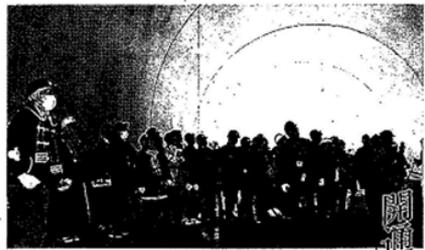
◆第5弾 2014年9月27日(土)
 「新東名・さがみ縦貫道JCT 工事と日向薬師平成大修理」(新東名、日向薬師)



◆第6弾 2015年3月8日(日)
 「圏央道(さがみ縦貫道路)開通当日ウォーキングと開通セレモニー見学」(圏央道)



日程	2013.8.24(土)	2013.12.14(土)	2014.3.29.(土)	2014.6.8(日)	2014.9.27(土)	2015.3.8(日)
場所	東京外かく環状道路千葉県区間	国道357号東京港トンネル	国道357号東京港トンネル	宮ヶ瀬ダム、小倉橋、圏央道	新東名高速、圏央道、日向薬師	圏央道
内容	親子見学、コンクリート練り体験、作業車試乗体験	トンネル見学 大学教授の講演	トンネル見学 ミニコンサート	開通直前の高速道路見学	JCT3箇所見学、国指定重文日向薬師本堂解体修理	開通直前の高速道路見学 開通セレモニー 見学
	東京駅集合解散 バスツアー	最寄駅集合解散 3-4km徒歩	最寄駅集合解散 3-4km徒歩	東京駅集合解散 バスツアー	横浜駅集合解散 バスツアー	新宿駅発・東京駅着バスツアー
料金	親5800円 子4800円	5800円	4800円	5800円	7900円	7500円
	バス、弁当	昼食、教授謝金	楽器奏者	バス、弁当	バス、昼食	バス、昼食
募集	40名バス1台	40名	40名	当初80名バス2台 のち120名バス3台	40名バス1台	40名バス1台
	約1週間で完売	1日で完売	3~4日で完売	初回1~2日で完売	約2週間で完売	—
参加	親子等18組37名	48名 男性34名 女性14名	46名 男性26名 女性20名	114名 男性77名 女性32名、不明5名	39名 男性27名 女性12名	19名 男性15名 女性4名
				建設系13名 建設以外71名 主婦8名、学生5名 パート8名、無職6名 その他6名	建設系10名 建設以外19名 主婦6名、学生1名 パート1名、無職1名	建設系5名 建設以外10名 学生3名 パート1名
会社	JTB	JTB	JTB	NEXCO中日本	JTB	JTB



開通前の東京港トンネルを歩く

貴重な体験の機会を、開通前の東京港トンネルを歩くツアーが好評です。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。

土木学会が起案 「社会資本」を観光の対象に

受ける「社会資本」を観光の対象に。土木学会が起案した「社会資本」を観光の対象にする。土木学会が起案した「社会資本」を観光の対象にする。土木学会が起案した「社会資本」を観光の対象にする。

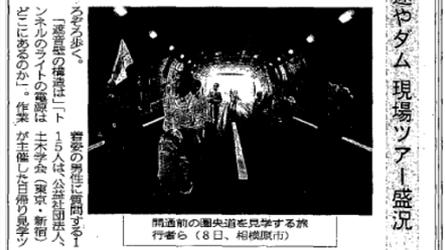
日刊建設工業2013.12.18
密匠歴た不り夏道こが因なりフネの40や様



フジテレビ2014.3.30

「土木広報センター」が主催する「開通前の東京港トンネルを歩く」ツアーが好評です。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。

インフラ工事 体感



高速やダム 現場ツアー盛況

「土木広報センター」が主催する「開通前の東京港トンネルを歩く」ツアーが好評です。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。



日経夕刊2014.6.16



千歳工業大・八馬准教授に聞く

千歳工業大学八馬准教授に、建設現場の安全管理について話を聞いた。千歳工業大学八馬准教授に、建設現場の安全管理について話を聞いた。

地域理解の糸口に

建設現場の地域理解の糸口。建設現場の地域理解の糸口。建設現場の地域理解の糸口。



ウォーキングツアー 2015年開通へ

自治体や企業 新型ツアー企画

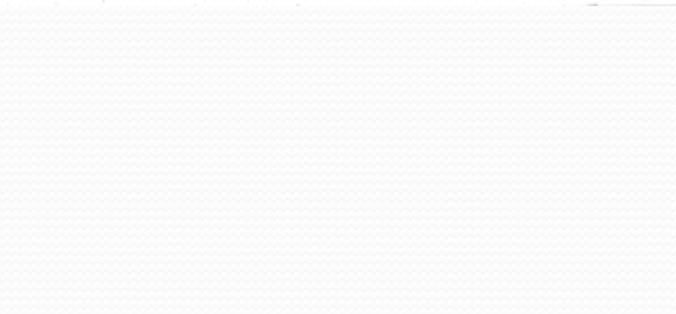
「土木広報センター」が主催する「開通前の東京港トンネルを歩く」ツアーが好評です。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。今年も、開通前のトンネルを歩くツアーを開催します。

工事現場は観光資源

受け入れ体制が課題

建設現場を観光資源として活用する。建設現場を観光資源として活用する。建設現場を観光資源として活用する。

日経2014.10.6



▲高速湾岸線の渋滞緩和
▲羽田空港などへのアクセス向上

Ⅰ 観光資源としてのインフラの魅力

◆プレミア感

- ・“今しか”見られない 参加しなければ体験できない

◆エンタテインメント性

- ・説明の面白さ どんな体験ができるか

◆ストーリー性

- ・何のための工事か どんなすごい技術 どんな苦勞
→国土や地域を知ること

Ⅰ インフラツーリズムの課題

◆ 企画

- ・見学に旬な時期⇔工事最盛期

◆ 現場の受入れ負担

- ・見学者の安全配慮、雨天時の対応
- ・トイレ、ヘルメット、資料
- ・運営者の動員

◆ 経済面

◆ 集客宣伝

◆ 技術者のスキル

- ・わかりやすい説明
- ・専門用語、略語を使わない

■ 国語辞典での「土木」

weblilo 辞書
569の専門辞書や国語辞典百科事典
から一度に検索!

三省堂 大辞林 [索引トップ](#) [用語の索引](#) [ランキング](#) [凡例](#)

三省堂

どぼく [1] 【土木】

[古く「どぼく」とも]

①土と木。

②土石・木材・鉄材などを使用して、道路・橋梁(きょうりょう)・鉄道・港湾・堤防・河川・上下水道などを造る建設工事の総称。〔従来は家屋などの建築を含んだ〕→ 建築

土木学会社会コミュニケーション委員会

<http://committees.jsce.or.jp/publicity/system/files/01-20140910-JSCE-PR-Sasaki-Appendix.pdf>

広辞苑 (2008)岩波書店	土工学、また、土木工事の略。
大辞泉 (1998)小学館	①土と木。 ②「土木工事」の略。 ※土木工事：道路・鉄道・河川・橋梁・港湾などの、土石・木材・鉄材などを使ってする建設工事。
日本国語大辞典 (2006)小学館	①土と木。比喩的に、飾らない祖やで素朴なものをいう。 ②木材、鉄材、土石などを使ってする建物、道路・河川・港湾などの工事。土木工事。
広辞林 (1984)三省堂	家屋・灯台・堤防・道路・鉄道・橋・トンネル・運河などすべて木材・鉄材・土石などを使用して構成する工事。
学研国語大辞典 (1990)学研	木材・鉄材・石材・セメント・土砂などを使って、建物・道路・鉄道・河川・港湾・橋・上下水道などを作る工事。 参考：現在は、建物をつくる場合を「建築」といい、これと区別して言うことが多い。従って「土木建築」という語がかわりに用いられている。
大辞林 (2006)三省堂	①土と木。 ②土石・木材・鉄材などを使用して、道路・橋梁・鉄道・港湾・堤防・河川・上下水道などを造る建設工事の総称（従来は家屋などの建築を含んだ）。
国語辞典 (2000)集英社	土石・木材・鉄材などを使用して、建物・道路・運河などを造る工事。協議には、建物工事を除いていう。
新世紀ビジュアル 大辞典(2004)学研	木材・鉄・石・コンクリートなどを使って、道路・鉄道・堤防・港湾施設などをつくる工事。土木工事。
岩波国語辞典 (2011)岩波	木材・鉄材・石材などを使ってする、家屋・道路・鉄道・港湾・橋などを建設する工事。土木工事。
日本語新辞典 (2005)小学館	土石・木材・鉄材などを使ってする建物・道路・河川などの工事。土木工事。

Ⅰ 新しい土木の説明の提案

※2014年度全国大会研究討論会にて国語辞典WGの成果を発表
土木学会誌2014.12号掲載

提案 1：“広辞苑”等の中型国語辞書への掲載イメージ

どぼく【土木】

- ① 人間と自然が共存する豊かな文明社会の創造を目的とする学問。
- ② 道路・鉄道・下水道・港湾など、社会資本の整備や機能維持を通じて、国民生活を豊かにし、経済活動を支える行為。

提案2：“新明解国語辞典”のように読んで楽しい辞書への掲載イメージ

どぼく【土木】

人間や社会を自然の脅威から守り、人間の行動および社会活動を円滑化し、かつ向上させるための学問。または道路・鉄道・下水道・港湾など、社会資本の整備や機能維持を通じて、これらの目的を果たすための行為。

Ⅰ 新しい土木の説明の提案

提案 3 : ごく平易に表現した辞書への掲載イメージ

どぼく【土木】

自然災害から人を守り、住み良いまちをつくり、快適な生活を支えるとともに、自然と調和した美しい国土をつくり、社会・経済を活発にするための学問。または道路・鉄道・下水道・港湾など、社会資本の整備や機能維持を通じて、これらの目的を果たすための行為。

提案4 : 小学生向けの辞書への掲載イメージ

(小学校4年生までの配当漢字で作成)

どぼく【土木】

地しん、つ波、台風などの自然さい害から人を守り、自然を大切にしながら、人が気持ちよく生活できるまちづくりの方法を考えることや、出かけやすさ、物の運びやすさなど、世の中を活発にするような仕組みを考えること。またはこれらの目的のため、道路・鉄道・下水道・港などをつくること、こわれたりいたんだりした部分を直すこと。

§ 5.課題

- 広報ノウハウの共有
- お客さん(国民)との接点
- 土木広報の評価